

料理講師の島田さん

今年で3回目となる神楽公民館の講座「男の料理教室」にてボランティア講師をしていただいている島田裕一さんは、公民館事業に関わるきっかけについて、このように話してくださいました。

「私自身日頃、料理教室の進め方に、いつも疑問に思っていることがあります。

1つは、本来の「料理」の材料を理解することより、手順を教える事が主流になっていること。

2つは、品数を増やすだけで、食材を使い切る料理をしないこと。

以上の事が、いつも頭から離れず何かの機会があったら調理師学校で学んだ方法とか、又プロとして仕事をした時の事を生かした教室をしたいなと思っていました。

家庭では当たり前と思っている事が、プロでは違う事も多々ありますので、その部分も取り入れた「教室」ではなく「講座」を行いたいと思いました。

- ①料理は、字の通り材料を理解してもらう講座にする。
- ②五味、五色、五法を取り入れた調理の講座にする。
- ③道具(包丁)、用語、歴史などを勉強する講座にする。
- ④電気釜、ガス釜に頼らないでご飯を炊く講座にする。
- ⑤材料を使い切る講座にする。

①～⑤までの考えで講座が出ないものと、公民館職員にお話したところ、講座のチャンスが回ってきて

今に至っています。私自身は、和食専科ですが、最近わたしのそば打ちの仲間の池田君(中華専科)がお手伝いしてくれまますので和食、中国料理の講座が出来るようになりまますので機会がありましたら是非講座に参加してください」

島田さんの料理講座をお楽しみに！



教育大旭川校 学生ボランティアの みなさん

いくつかの公民館事業には、北海道教育大学旭川校の学生たちがボランティアで参加してくれています。

学生ボランティアたちは、地域教育に対する支援活動を通して、教師になるための



親子ふれあい農業体験～乳搾り編にて、牛の後ろで「バケツ」を持って頑張っている学生さんです。

資質能力の向上を目指しています。

今年度は7名の学生が公民館事業に参加しています。小学生と百寿大学生との交流事業のお手伝いをしたり、親子陶芸教室の補助をしたりと、約20の事業に参加してくれました。

色々な公民館事業に参加した学生たちの「ボランティア集大成」が、12月29日に行われる「教育大生自主企画講座」です。この事業は、学生自らが「どんな事業にするか」を企画し、当日も自分たちが進行をします。

今年は、小学生対象の工作教室(卵の殻を使った貼り絵)を行う予定です。どんな楽しい事業になるでしょうか？